

## 目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 29年 1月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.18	出来ることは自分でして頂くよう心掛けているが、つい手が出て介助を行ってしまうことがある。小さなことではあるが、入居者さんも介助してもらうことが当たり前のようにになっている場面がある。(食事の際お茶を準備する、食べた食器を片付ける等)	①一人一人が持っている能力をしっかりと把握し、スタッフ間で共有する。 ②入居者さん一人一人に役割を持って頂き、一緒に生活している一員であることを実感して頂く。	①一人一人の出来ること、生活の中から見出す。 ②一人一人に役割を持って頂く。 ③スタッフは、すぐに手伝うのではなく、まずは見守り、次に声を掛け一緒に行う姿勢で関わる。	12ヶ月
2	No.13	職員の経験や知識の差がケアの差につながっている。	①年に1回以上は外部の研修へ参加し、学ぶ機会を得る。 ②院内のオンデマンド研修を活用し、知識・技術の向上を図る。 ③院内研修への参加	①研修案内を定期的に出す。 ②研修参加記録をつける。 ③オンデマンド研修の受講。	12ヶ月
3	No.48 No.49	『夢叶えプロジェクト』として、入居者さんや御家族がやりたい事を叶えていく活動を行っている。現在、年に2～3件程度の実施である。今後は、もっと訴えを引き出し、やりたい事をみつけ叶えていくことで日々の生活に潤いを与えていきたい。	①年に1度は、入居者さんのやりたい事を叶えていく(誕生日月を予定) ②本人や家族との会話の中からやりたい事をみつける	①『夢叶えプロジェクト』の存在を入居者・御家族に周知徹底する(グループホーム便りやお知らせボードを利用) ②各担当介護士は、入居者さんのやりたい事を聞く	12ヶ月